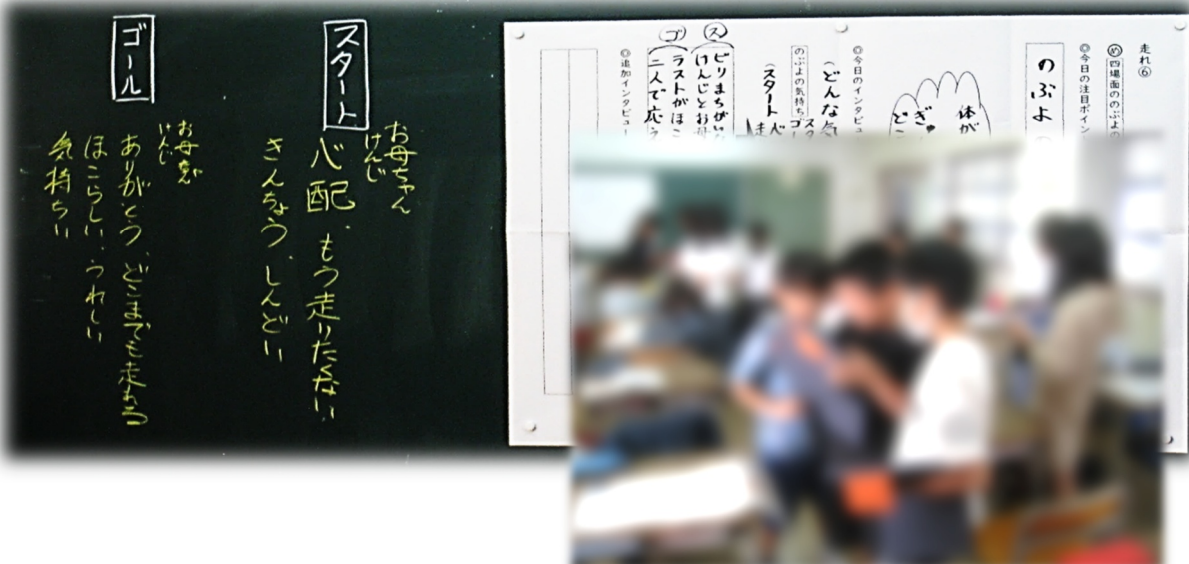


## 4年生公開授業

10/5(木)は4年生の国語科公開授業『走れ』が行われました。

### 授業

4年生は物語の学習を進めるにあたって登場人物の気持ちをとらえるために、『この瞬間(この場面)インタビューされたら、なんて答えるだろう?』という設定で読みを深めていきました。本時は主人公・のぶよの気持ちの変化を読み取り、変化したきっかけを考える学習でした。普段の学習からタブレットを活用し、自分の考えはパワーポイントに整理し少人数でお互い交流し合う。その後全体で意見を出し合い深め、それをワークシートにまとめ整理してきました。交流の時は教室を動き回り、「(その時)どんな気持ちですか?」とインタビュー形式で意見交換をしていました。パワーポイントをダウンロードしたりシートに自分の意見をまとめたりまたそれを提出したりと、タブレットの活用はとても慣れている4年生でした。タブレットを手にもって友だちとの交流も、うまくやっていました。もちろん全体で自分の意見を発表するときは教科書の本文に戻り、根拠をはっきりさせて発表していました。

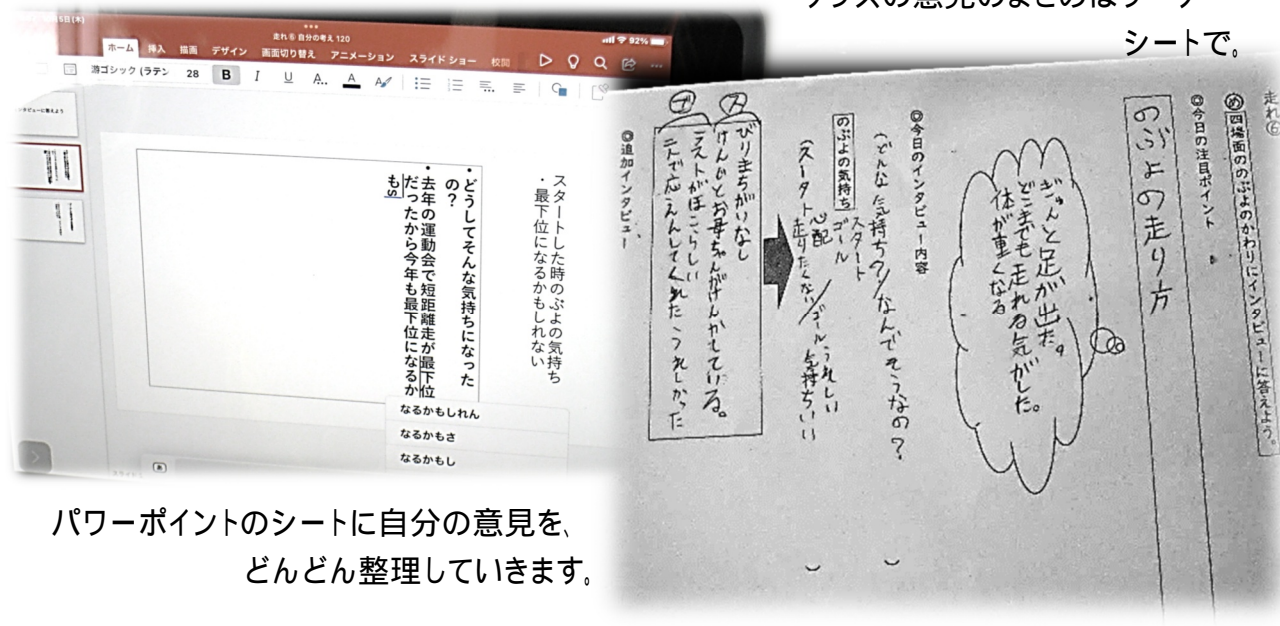


中学年ブロック会・事後研

タブレットをもって意見交流。

ブロック会では動作化によって気持ちの変化をとらえさせる、タブレットをうまく活用し自分の考えを整理させるといった授業者のねらいが伝えられた後、参加者と意見交換をしました。

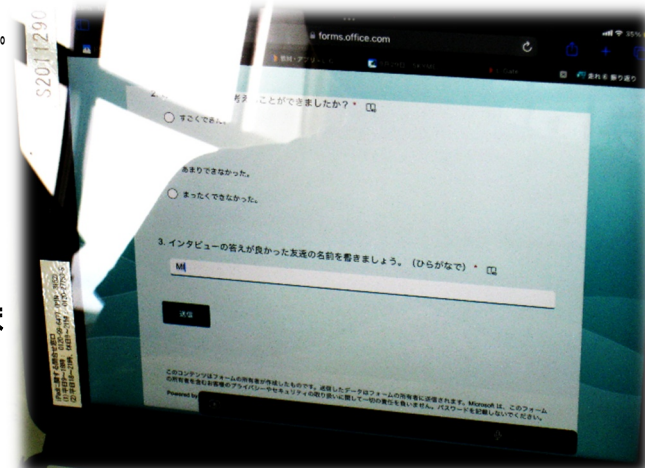
クラスの意見のまとめはワークシートで。



パワーポイントのシートに自分の意見を、  
どんどん整理していきます。

参加者からは『人物の気持ちを考えさせるのにインタビューという形をとったのは、よかった。さらに広がりもある。』や『タブレットを上手に活用した児童も使い慣れていて、書くことを苦手とする児童には、自分の考えを整理するのに有効的だった』などの意見がありました。ただ国語科において“書く”活動の大切さや指導の重要性を考えるとタブレットだけでは成り立たないので、今回のように使い分けが大切になってくるや、インタビューの場面で“気持ちを考えよう”だけでは難しいので、自分になりきれのために色々な問い方や発問の工夫も必要ではないかという意見も出ました。また登場人物の気持ちなどを考えるときは本文にもどり書かれてあることを基に考えることの大切さや、話し合い活動において参加しにくい児童のためのヒントカードのような物の利用するなど、本校で大切にしている“豊島西授業スタンダード”を意識した取り組みについても意見交流がなされました。

中学年のブロック会・事後研では、話し合い活動(意見交流)に参加できない児童のために、工夫が必要。自分の意見の整理や意見の共有のためにタブレットの活用は有効だが、今回のようにまとめの場面ではワークシートを活用するなど、使い分けが大切。学習するための集団作りや豊島西スタンダードを、今回のように常に意識した授業を行う。



フォームズを活用したふりかえり

などを確認し、事後研を終えました。